

ひらんぽ



2015年2月21日(土)に、普段サブリ村野を利用している15団体が参加し、「サブリ村野大学」が開催されました。

老若男女の参加者が、体を使った体験学習や、国語や歴史の授業、趣味を広げる教室など、さまざまな授業に、熱心に取り組んでいました。



サブリ村野大学

～来て見て学べるサブリ村野～

2015年2月21日(土)開催!

鉛筆画教室を体験しました!

鉛筆画教室「似顔絵を描いてみませんか!」に参加しました。絵画経験のない方でも描き方を覚えれば、短期間に誰でも描けますということで、早速チャレンジ。壁には写真と見間違えるような似顔絵が貼ってあり、どれも教室に入ってきた日の浅い方の作品と聞いて驚きました。

今回の似顔絵はオードリー・ヘップバーンです。まずトレーシングペーパーに鉛筆で全面を軽く塗りつぶします。下に画用紙を置き、上に写真を重ねて、竹ペンを顔の輪郭をなぞります。すると、画用紙にトレーシングペーパーの鉛筆の色が移って準備完了。最初は目を丁寧に描きこみます。先生は、似顔絵は目が一番肝心で、目と唇さえ、うまく描ければ、ほほOKだと言われました。まつ毛や眉毛も一本一本、鉛筆を立てて描きます。



枚方市男女共同参画社会づくり支援講座

愛ラブにんげんフェスタ!



2015年2月15日(日)開催



枚方市男女共同参画社会づくり支援講座「第2回愛ラブにんげんフェスタ!」が、2月15日(日)メセナひらかた会館で開催されました。

講演会を始め、年齢や性別に関係なく楽しめたり、人権について考えたり、さまざまな視点を盛り込んだ催しが行われました。



報告しぽ



「愛ラブにんげんフェスタ!」の講演会、「私が14歳でホームレス問題に出会い、19歳で起業した理由」。タイトルはすごいけど、講師・川口加奈さんは優しいようなヤングレディ。親にはクラブ活動といいながら、ホームレス支援のボランティアを始め、自分の目で見、耳で聞いたことを真面目に考えながら活動。高校生で米国ボランティア親善大使に選ばれ、その時「社会は変えなきゃ」といわれた言葉がこたえ、大学生時代にホームレスに脱出のチャ



ンスを作ろうと奔走。現在、大阪市内に20か所の拠点があるレンタサイクル「HUBchari」で108人が働いています。ご自身は数々の賞を受け、他にも8つの取り組みの「NPO法人Homedoor」代表で活躍中の24歳。何かをやらなきゃと、元気をもらえる講演でした。

午後にはバッグチャーム、デコパージュ、絵柄マスクなどを作る「手しごとカフェ」と「絵本カフェ」で、ほっこりムード。ボードゲームに夢中の子どもたちの歓声も響き、最後にみんなでつくる学校とれびりんかの朗読劇「ツルとタケシ」に沖縄音楽も流れて多彩な一日でした。(高橋 佳子)





渡辺 洋一郎さん (インタビュアー/文・西川 史朗)

「無いものは、作らずにはいられない人間なんです。」地域密着型情報紙を発行する、LIP編集局の渡辺洋一郎さん。巨大シャボン玉や製本機、電子書籍まで作ってしまう渡辺さんが、10年にわたりLIPを作り続けている理由とは。そして、LIPという装置が作り出すものとは。

保護者同士のつながり

2002年だったかと思いますが、小中学校の完全週5日制が実施されることになりました。これに合わせ、枚方市は留守家庭児童会室も毎週土曜を閉室とする方針を打ち出したために、土曜日に働いている保護者たちから反対の声が上がりました。

当時小学生だった私の息子も留守家庭児童会室のお世話になっており、保護者会の役員をしていた私は、他の保護者たちと共に、市との話し合いの場に参加しました。しかし、ほとんどの保護者は、仕事があるために、なかなか集まりや交渉の場に参加できず、元々保護者同士の横のつながりも弱い。結局その後、留守家庭児童会室の毎週土曜の閉室が決まってしまうました。

この苦い経験を通じて、自分たち保護者の横のつながりを築く必要性を強く感じ、ML(メーリングリスト)を作ったんです。すると、たくさん保護者が登録し、Eメールを使って情報や意見をやりとりし合えるようになりました。これは、とて



え、市内全域から子育て・学校・地域など、さまざまな情報が集まるようになりました。現在LIPで活動しているメンバーの多くも、このMLで出会った方々です。

LIP誕生

そこで、これは我々保護者たちのものだけにしてはもったいない、またEメールを利用しない人たちにも情報を提供したい、と考えるようになりしました。同じようなことを考えていた方々と共に、2005年8月に、情報紙LIP(Local Information Paper)を創刊しました。これがLIPの始まりです。理念は「書く人も、読む人も、置いてくれるお店も、みんなハッピー」です。以来、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの情報を提供するため、毎月発行を続け、今年で丸10年を迎えます。現在は月に1250部を発行しています。具体的には、メンバーや投稿者が送ってくる記事や情報を、私が自宅のパソコンで編集します。それを編集

メンバーが月に一度、サプリ村野に集まり、輪転機で印刷し、丁合作業をしています。

細々ながらLIPを続けて来られたのは、もちろん多くの方々の協力のお陰ですが、地域への恩返しという私の思いもありました。私たち夫婦は結婚当初から共働きのため、娘も息子も0歳から保育所や留守家庭児童会室など、地域に育ててもらいました。その恩返しでした。LIPの活動のほか、地域のイベントに呼ばれて大きなシャボン玉を作ったり、ポン菓子を作ったりして、子どもたちと一緒に遊ぶ活動もしています。



新たなつながりへ

私は会社勤めをしていますが、LIPの活動を続けています。

会社の仕事だけでは決して知り合えないような方とつながることができません。そのつながりが、また別のつながりへと発展していく。LIPはいわば、つながりを作り出す装置のようなものです。皆さんに、この装置を活用していただければと思っています。資金や時間は限られていますが、少ないスタッフと共に何とかやりくりしながら、今後も続けることを第一に考えて活動していきたい。欲を言えば、書いて投稿してくれる人を増やしていきたいですね。

★LIP編集局

HP : <http://www.love-dugong.net/lip/>
メールアドレス : lip@love-dugong.net
TEL : 070-56653-6913(18時以降)
FAX : 020-4665-8668

2014年度

2015年

2月22日(日)開催

ひらがた防災学校

学んで守ろう わが身わがまち



から体験できる一日
となりました。



阪神淡路大震災から20年、東日本大震災から4年。被災地に思いを寄せつつ、自分たちのまちの防災について考えるイベントとして、4回目の開催となりました。今回は、「避難所運営」というキーワードをもとにさまざまな企画が行われ、子どもから大人まで考えながら体験できる一日となりました。



避難所シミュレーション体験

午前中に行われた、避難所シミュレーション体験「みんなの避難所づくり」。今回は、「避難所部屋づくり」「仮設トイレづくり」「給水体験」を行いました。3グループに分かれ、それぞれのリーダーからの「高齢者がいる場合の部屋はどの場所がいいの?」「身障者用のトイレは?」など、さまざまな問いかけに対して、誰もが過ごしやすい避難所を考える良い機会になりました。

参加者からは、「初めて給水車を見た」「今日の経験を日頃の防災準備に活かしたい」「改めて事前のシミュレーションの必要性を実感した」などの声が聞かれました。

防災学習

子どもから大人



子どもから大人まで学べる「防災クイズ」では、南海トラフ地震を想定した問題が出され、「防災すごろく」では、いざという時に、どういう行動をとるかというゲーム形式で行われていました。両方を体験した子どもたちは、大人でも難しい言葉も覚えており、小さい時から、災害時の自分の身の守り方を知っておくことは、減災にもつながっていくと思います。

癒しと元気の体験



「歌声喫茶」や「吹奏楽演奏」など、音楽的プログラムも行われ、大きな声で歌うことで心が晴れやかになり、お馴染みの音楽を生演奏で聴くことで、ホッと一息つく時間が持てました。「ハンドマッサージ」や「傾聴セラピー」といった癒しのプログラムでは、一人一人に合った丁寧な対応でリラククスできたようです。避難所など、慣れない場所での長い間、寝起きすること、ココロもカラダも疲れてきてしまう時、自分自身で、または家族や友人同士で、元気になれる方法や予防法を知っておくことも大切だと思います。



防災・被災地支援の展示

今回は災害時に、身体的に援助が必要、または情報不足やコミュニケーションが困難になる「災害弱者」に必要とされるものと考えた。コーナーが設けられました。参考になる防災グッズが展示されたり、災害弱者



についての意見が貼り出されることで、防災や避難所運営の課題が見えてきたようで、今後も引き続き考えていく必要があると思います。
被災地の写真パネル展では、改めて地震の恐ろしさを実感し、引き続き被災地への支援の必要性と、防災の啓発の大切さを感じることができました。



防災小学校のまとめ

2014年度は、11の校区や自治会、団体などで、「防災小学校」を行いました。「クロスロード」といった防災シミュレーションゲームを行うことが多く、地域のコミュニケーションやお互いの防災意識を再確認するといった光景が見られました。
2015年度も、NPOが地域と共に考え、防災を啓発できるプログラムを提案していきたいと思っています。



第2回ひまプロ本会議



2月26日に、第2回ひまプロ本会議を開催しました。第1回本会議の報告後、今回は、3団体からプレゼンテーションが行われました。それぞれの課題を3つのグループに分かれてディスカッションし、笑顔にあふれながらも意見交換はヒートアップしていました。参加者からは、多彩な提案もあり、そこから何かが確実に生まれそうです。
今回プレゼンされた方からは「何だかとても勇気が湧いた」。また、参加者からも「いろいろな人と新たな話ができる場として、とても良い」「また次回も参加したい」などの感想をいただきました。
ひまプロ本会議では、課題を提起された団体のみならず、参加者が解決に向けてのアイデアや提案で、自らも活性でき、「WIN-WIN」となるビジネスマッチングを生むことを目指しています。



ひらかたNPOフェスタ2015

日時：2015年9月23日(水・祝)
場所：枚方市市民会館周辺

実行委員長・副実行委員長決定!

2015年度の実行委員長は、竹安 庄平さん(エコ・スマイルひらかた)に決まりました。
また、副実行委員長は、2014年度から引き続き、木下 容子さん(YBC(笑)ースポーツ応援クラブ)と、平井 亜希子さん(ひらかたハートセラピー協会)に引き受けていただきました。
今回は、会場形態を少し変えて、さらに新しいNPOフェスタを目指します。お楽しみに!

2014年度の報告

2014年度も、特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターは、さまざまな事業に取り組んできました。リニューアルしたサプリ村野に移転してから2年。団体の皆さんや、ボランティアスタッフの皆さんのご協力のおかげで、少しずつ事業の効果も見られるようになってきました。今後も、サプリ村野が、皆さんにとって利用しやすい施設となるよう、また、NPOや市民活動が地域社会へ広がるような事業を行っていききたいと思っています。

2015年度もご協力の程、よろしくお願ひします。

年	月	日	事業内容 (行事関連)	
'14	4	5	「桜まつり」参加	
		19	「春からはじめよう!枚方のボランティア」開催	
	5	10	「第7回やさしさ、ふれあいのまちづくり講座(太極拳・気功)」開催(全4回)	
		22	団体交流会「イベントのしかけ方」開催	
		25	定時総会、第1回理事会	
		30	「NPOを学ぶ講座」開催	
	6	8	「第8回やさしさ、ふれあいのまちづくり講座(ひらヨガ)」開催(全3回)	
		16	「熱中症予防とAED講座」開催	
	7	10	「プロに聞く!プレスリリース講座」開催	
		18	団体交流会「活動における人材」開催	
		22	「留守家庭児童会室市民参画事業」実施(~8/25)	
	8	1	「ホームページ」リニューアル	
		23,24	「枚方まつり」参加	
	9	1	「防災ずきん講座」開催	
		6	「第9回やさしさ、ふれあいのまちづくり講座(太極拳・気功)」開催(全4回)	
		14	「ふれあいファンド」募集(~10/20)	
		21	「ひらかたNPOフェスタ2014」開催	
		29	「審査員経験者に聞く!助成金・補助金獲得講座」開催	
	10	30	「NPO活動応援基金 第1回審査会」開催	
		14	「天の川クリーン&ウォーク」参加	
		15	「第1回ひまプロ本会議」開催	
	11	31	「NPOを学ぶ講座」開催	
		17	「絵本おはなし会」開催	
		20	団体交流会「音楽」開催	
		22	講演「落語で学ぶ男女共同△で口じゃない〇い社会」開催	
	'15	1	27	第2回理事会
			8	「NPO活動応援基金 第2回審査会」開催
		2	10	「天の川とんど祭り」参加
			15	「第2回愛ラブにんげんフェスタ」開催
			21	「サプリ村野大学」開催
22			「2014年度ひらかた防災学校」開催	
26			「第2回ひまプロ本会議」開催	
3		27	「サプリ村野消防訓練」実施	
		7	「第10回やさしさ、ふれあいのまちづくり講座(太極拳・気功)」開催(全4回)	
		18	「NPO活動応援基金 第3回審査会」開催	
	13	団体交流会「遊び」開催		
	26	第3回理事会		

定例的に行っている事業	
毎週(土)・(日)	F Mひらかた 「みんなのNPOサロン」放送
毎月第2(木)	まちづくり井戸端会議
毎月	情報紙「ひらせんナビ」発行
季刊	広報紙「ひらんぼ」発行

2014年度 活躍のボランティアスタッフ

ひらかた市民活動支援センターを支えてくれた皆さん!
2015年度も、どうぞよろしくお願ひしますm(_ _)m

生熊一登、石井匠、上田こころ、上原一恵、宇佐美遥
榮樂民子、大在家聡美、岡谷幸子、小田にしを
川越あゆみ、川越少優、川上一富實、岸上純也、熊澤力、
郷田登樹子、酒井惇子、酒井桂、鈴木修、高嶋剛三郎
高橋佳子、長島信一、平林はみ子、久田憲司、藤田史子
松島新、松元広樹、宮岡真紀、宮崎ひとみ、宮富静子
向井範雄、山路直樹、山中忠次、吉田正男、鷲山秀子
(50音順・敬称略)



サプリ村野にも春が来ました♪

編集後記

相変わらず、バタバタしながら過ぎてゆく年度末ですが、変わらず協力していただける皆さんのおかげで、何とか新年度を迎えられそうです。心からの感謝とともに、次年度から、少し楽しい企画も掲載していきたいと思っています。よろしくお願ひします。(編集者・S)



編集・発行：特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター
〒573-0042
大阪府枚方市村野西町5-1サプリ村野内
TEL：072-805-3537 / FAX：072-805-3532
Eメール：info@hirakatanpo-c.net
http://www.hirakatanpo-c.net/